

みんなを繋ぐ糸を紡ぐ。

コロナ時代の地域福祉



木野1丁目集会所に集う皆さん。
優男は、各地域のグループを訪ねます。

問い合わせ
社会福祉協議会 ☎52-2275
【取材 企画財政課】

ピンクの衣装、白いマントに白ブ
ーツ。胸には『優』の赤い文字。
怪しげな男が二人、女性たちの中で
愛嬌を振りまきます。この男たちの
名は、『優男』。まさお、でも、や
さおとこ、でもなく、やさおと呼
んでください。

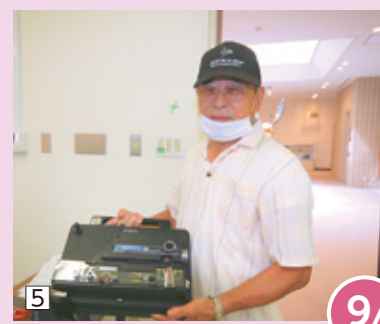
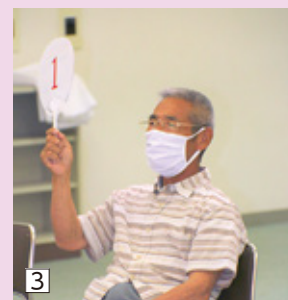
ここは、旧木野小学校跡地にある
集会所。地域で福祉活動をする『木
野1丁目フレンド中津』という女性
グループ。毎月集まって体操やゲー
ム、脳トレをし、食事を共にして、
わきあいあいと話を楽しんでいま
す。その中に交じった優男たち。そ
ばにはテレビカメラの姿も見えま
す。ケーブルテレビ『ちゅピCOM』
のコミュニティチャンネルで、10月
から始まる新番組『優男（やさお）
がゆく！YASA・OH Goe』
の初回放送分の収録です。

優男に扮するのは、社会福祉協議
会の職員、角井賢治さんと浴簾さん。
社会福祉に従事する優しい男、福祉
のヒーローという設定です。この優
男たちが、市内各地域で福祉活動
をするグループを訪問し交流。福祉に
関する最新情報を始め、福祉施設や
医療機関なども紹介する番組です。
そのほか、イベントやお店の紹介、
人物にスポットを当てた企画も考え
ています。

（次ページにつづく）



①廿日市市の自主防災組織の副会長の羽熊哲二さん（廿日市市）は、児童会の副会長バッジを購入。②跳び箱がお気に入りの和奏ちゃん（左）と涼珠ちゃん（右）姉妹。「リビングが駐車場に置きます」とお父さん。③狙った品は競り落とせたかな？④8ミリカメラを手に、オークション開始。⑤「家に親の残した昔のフィルムがたくさんあったので」映写機を購入した鈴木功さん（玖波4）。



リユースで第二の居場所へ

ギャラリーおおたけ

現在建て替え中の大竹会館や閉校になった穂仁原小学校で眠っていた備品などを売却する「おおたけリユース市」を12日、13日の2日間にわたり開催しました。学校で使っていた、ちょっと懐かしい道具や小物は人気の的。広島市安佐南区からやって来た、小学3年生の西原和奏ちゃん、涼珠ちゃんの姉妹は、体操教室に通っていたことがあり、跳び箱がお気に入り。何度も跳んで見せてくれました。

レトロな蓄音機やレコードプレーヤー、スピーカーなどの品々はオークションにかけられ、競り落とした人の満足そうな笑顔が見られました。



長州の役古戦場に置かれたストーンアートの前で地図を持つ長野さん。番組内で流すVTRの撮影。

9/10 THU
10月10日（土） 21時54分～
10月12日（月） 18時54分～（再放送）
RCCテレビ（3チャンネル）

放送日

広島市を中心とした広島広域都市圏の話題を取り上げるテレビ番組、『野々村真の広島！魅力発見』のロケが行われました。今回紹介するのは、市内の約140カ所に設置してあるストーンアートです。今年、それらの位置を示した『巨石アート（ストーンアート）マップ』を暴力監視追放協議会が作成しました。実際にマップを描いたのは、長野貢さん（新町3）です。番組では、長野さんが野々村さんにクイズを出し、ストーンアートの魅力を伝えます。

ストーンアートを地図で巡る

和菓のテリーヌ予約開始

マロンの里交流館の女性グループ『くり魔女』の皆さんが作る、岸根栗を使った『和菓のテリーヌ』の販売予約が始まります。

予約開始日 10月20日（火）10時～
申し込み マロンの里交流館 ☎55-0055





テレビ番組での取り組みの一方、アナログ的な取り組みも行っています。それが、『手紙』です。手紙というと皆さんは何を思い浮かべますか？特別なときにおくるもの。残しておきたくなるもの。手間のかかるもの。昔のもの。個人や世代で違う印象を持つことでしょう。LINEなどのSNSやEメール、電話でいつでも伝えることができる今、何でわざわざ手紙かと思われるかもしれません。新型コロナウィルスが私たちの日常に入り込んで来て、会いたい人に会えない、集えない、外出は怖い、が普通になり、ついこの間まで当たり前だった人との『つながり』が難しくなっていました。だからこそEメールや話すのとは違う、この古くて新しい手紙という媒体を通したつながりを持つことも必要なかもしれません。

大 竹の特産品の手すき和紙。ぬくもりのある和紙のはがきを使い、手書きの文字や絵で、人とのつながりを確かめる。社会福祉協議会では、そんな取り組みを始めました。社会福祉協議会の浴さんは、この取り組みへの思いを話してくれま

今ひとたびの手紙 思いを添えて便りをおくる――

さがあります。人と会えないことは考えていたよりもずっとつらいと思っています。人はいくつもの手紙には時間がかかります。相手に何を伝えたいのかじっくり考え、筆を執らなければなりません。EメールやSNSのように、思いつきで送信してしまうこともありません。すぐに相手に伝わらない分、相手の思う時間は長く、気持ちは強くなりま

和 紙のはがきを使った取り組みは、夏休みの子どもたちを対象に、玖波地区の地域福祉活動団体が試みたそうです。はがきに、子どもたち



夏休みに子どもたちが描いた和紙のはがき。玖波1丁目の地域福祉活動団体『いただきますの会』が、地域のお年寄りたちに配りました。

社会福祉協議会では、人と人がつながるきっかけづくりや地域の市民活動の支援をしています。「つながり」をつくるために地域の福祉活動をする団体の支援をしたり、みんなで集まる場をつくったりする。こうした活動をとらえて地域を担う「ひと」を育て、地域づくりをすることを目指しています。

手すき和紙のはがきを 無料配布

おたけ手すき和紙はがきをアンケートに回答していただける方に無料配布します。手作りの温かみがある手すき和紙はがきで、大切な人へ手紙をおくりませんか。

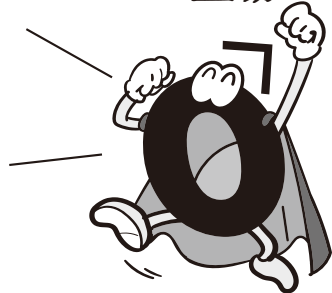
プレゼント枚数
100人（1人2枚 申込順）
申し込み
10月23日（金）までに、電話または直接サントピア大竹（社会福祉協議会 522275）へ。



福祉ヒーロー『優男』に变身した、角井さん（左）と浴さん（右）

密を避けてながら 密につながる

――新番組にヒーロー登場――



「番組が福祉の担い手づくりのきっかけになってくれれば」と山本会長。

10月
スタート

優男（やさお）がゆく！ YASA-OH Goes

放送局

ケーブルテレビ：ちゅピCOM（11チャンネル）

放送日

毎月隔週放送（第1週・第3週の月曜日から日曜日）
8時30分～8時45分・15時30分～15時45分

第1回 10月 5日（月）～11日（日）

第2回 10月19日（月）～25日（日）

新 新型コロナウイルスの影響で、これまでの生活様式が一変した社会。人と人がふれあう機会が減少してしまっている、これまで経験したことのないような時代になりました。だからこそ、人と人、人と地域をつなぐ、新たな試みとして立ち上げるテレビ番組です。

を近く感じることができるようになってもらいたいと思っています。かつては、近所同士や地域の助け合いで、自然発生的に生まれた福祉の担い手でしたが、今の時代、こうした番組を通して、福祉活動に興味を覚えてもらい、新たな福祉の担い手が生まれるきっかけになればと願っているようです。



（右上）優男がインタビュー。（左上）みんなで体操。木野1丁目の皆さん。（右下）バラバラに並んだ文字を並べかえて単語にする脳トレ。優男がアドバイス。

